

第2次寒川 学びプラン

令和5年度事業報告（案）

ともに学び・ともに支えあう
自己実現と協働のまち・さむかわ

「第2次寒川 学びプラン」令和5年度事業報告(案)

事業実施状況の概要

【評価目的】 「第2次寒川 学びプラン」に掲げた65事業の進捗状況を把握し、その評価を行うことにより、計画の着実な推進と実効性を確保し、「第2次寒川 学びプラン」の基本理念である「ともに学び・ともに支え合う自己実現と協働のまち・さむかわ」の実現に向け、生涯学習振興を推進する。

【評価項目】 令和5年度事業の実施状況の評価

【評価方法】 事業実施課が令和5年度事業の評価を目標数値に対する実績値の割合により、次の区分で評価する。

【令和5年度の評価】

- A： 目標数値に対して90%以上
- B： 目標数値に対して70%以上90%未満
- C： 目標数値に対して70%未満
- D： 事業を実施できなかった

【評価の結果】

基本目標	施策の方向	事業番号	事業数	A	B	C	D
1「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる 生涯学習	1 自主的・自発的な学習の 支援	1～3	3	3 事業	0 事業	0 事業	0 事業
				100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	2 ライフステージに応じた 学習機会の充実	4～18	15	12 事業	2 事業	1 事業	0 事業
				80.0 %	13.3 %	6.7 %	0.0 %
	3 学習ニーズ・現代的課題 への対応	19～29	11	9 事業	1 事業	1 事業	0 事業
				81.8 %	9.1 %	9.1 %	0.0 %
	4 学習環境の充実	30～44	15	8 事業	4 事業	2 事業	1 事業
				53.3 %	26.7 %	13.3 %	6.7 %
2「活かす」 学んだことを活かせる 生涯学習	1 学習成果を発表する機会 の充実	45～46	2	1 事業	0 事業	1 事業	0 事業
				50.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %
	2 学習成果を地域で活か す機会の充実	47～52	6	1 事業	2 事業	1 事業	2 事業
				16.7 %	33.3 %	16.7 %	33.3 %
3「つながる」 学びでつながる生涯学習	1 まちづくりにつながる学 習機会の充実	53～55	3	2 事業	1 事業	0 事業	0 事業
				66.7 %	33.3 %	0.0 %	0.0 %
	2 まちづくりにつながる活 動の支援	56～65	10	6 事業	1 事業	3 事業	0 事業
				60.0 %	10.0 %	30.0 %	0.0 %
合 計			65	42 事業	11 事業	9 事業	3 事業
				64.6 %	16.9 %	13.8 %	4.6 %

【基本目標１】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向１】自主的・自発的な学習の支援

【施策１】学習情報の提供・学習相談機能の充実

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
1	生涯学習関連事業の情報提供	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行し、町や関係機関が主催する講座やイベントの情報提供を行った。また、町ホームページへの掲載や公共施設に配架を行った。	各課等で行われる年間の講座、教室等の総事業数(件)	190	190	190	190	A	町の生涯学習関連事業をとりまとめた情報誌を定期的に発行することで、町民の自主的・自発的な学習支援や学習機会の提供を行った。総事業数は前年度に比べると減少したが、目標数値の90%以上の実績値を残すことができた。	学び推進課
	町民の生涯学習を推進するため、各課等で行われる講座・教室等の情報を取りまとめ、情報提供を行います。（さむかわ町民大学）				183	190	181				
2	広報活動事業	広報紙、町ホームページ、メール配信サービス、広報板、ツイッター、LINE、テレビ放送、エフエム放送、報道機関など様々な媒体を活用し、生涯学習の推進に資する情報提供を行います。	町の施策や事業などの情報を、次の媒体を活用して提供した。 【活用媒体】 ①広報紙 ②町ホームページ ③便利ガイド ④メール配信サービス ⑤広報板 ⑥Twitter ⑦Facebook ⑧Instagram ⑨LINE@ ⑩マチイロ（i広報紙） ⑪マイ広報紙 ⑫新聞・タウン紙 ⑬J:COM ⑭YouTube ⑮コミュニティ放送（レディオ湘南・さむらじ） ⑯デジタルサイネージ ⑰正面玄関モニター ⑱Primes	情報提供を行う媒体数(件)	17	17	17	17	A	広報紙について、より読みやすく、わかりやすい広報紙となるよう令和5年7月にリニューアルを行った。	広報戦略課
	広報紙、町ホームページ、メール配信サービス等の様々な媒体を活用し、行政の施策や事業など町の情報提供を行います。				18	18	18				

3	生涯学習情報紙の発行及び相談体制の充実	・町内の子ども向けの講座やイベント等を掲載する情報紙「すきっぷ」を年4回発行する。 ・町が実施する生涯学習事業を紹介する「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行する。	・「すきっぷ」を年4回発行し、町内の幼稚園、保育園、小学校に通う全児童に配布した。 ・町が行う生涯学習事業を集約した「さむかわ生涯学習総合案内」を年1回発行し、情報提供を行った。	生涯学習情報紙の年間発行回数(回)	5	5	5	5	A	「すきっぷ」を定期的に紙面で発行し続けることで、子どものための生涯学習情報紙として定着することができた。令和5年度より紙面をカラーにして、より一層見やすくなるようにした。「すきっぷ」は、子どもたちが講座や教室、イベント等へ参加するきっかけとなっており、今後も子どもたちの目を引く親しみのある紙面づくりを続けていく。	学び推進課
	町民に生涯学習に関する情報提供を行うため、生涯学習に関する情報紙を発行するとともに情報の収集・発信や各種相談への対応を行います。			5	5	5					

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策1】乳幼児期における学習機会の提供

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
4	乳幼児を対象とした公民館事業	【町民センター】0歳児えいごであそぼう、ママとベビーのふれあい体操 等 【北部公民館】おはなし図書館、七夕飾り作り教室 等 【南部公民館】おはなし広場、親子でクラフト教室、親子リトミック教室 等 【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会 等	【町民センター】2事業2回・延べ24人参加 えいごであそぼう、ママとベビーのふれあい体操 【北部公民館】4事業9回・延べ114人参加 おはなし図書館、夏休みおはなし図書館、バルーンで遊ぼう、親子サロン 【南部公民館】5事業30回・延べ539人参加 親子でクラフト教室、おはなし広場、親子でリトミック体験、クリスマス広場、ほっとおあしす	講座・教室等の開催回数(回)	38	38	40	40	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者同士の接触を伴う内容や多人数を定員とすることが難しいことから令和2、3年度は機会が減っていたが、令和4年度以降は回復傾向にある。幼児向け事業のニーズは感じるが、公民館の存在を知られていないこともあり、必要な参加者に情報が届くように、LINE等の配信を強化する。	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、乳幼児を対象とした講座・教室等を開催します。				28	33	41				

5	子育て支援センター事業	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施 実施日：月～金曜日 9：00～16：00（土・日・祝日・年末年始及び月1回月曜日の午後を除く）	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業を行った。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人数制限を段階的に緩和して開所した。	子育て支援センターの利用者数(人)	9,490	9,540	9,610	9,670	B	育児や子育てに関する情報提供と相談対応など子育て支援体制の充実を図った。育児不安を抱える保護者への相談対応を行い、状況の把握に努めた。	子育て支援課
	子育てに関する相談、啓発活動、サークルの育成、支援などの事業の実施や、利用者のきっかけづくりとなるイベント等を開催します。				3,722	6,010	7,986				
6	母子健康教育事業	事業の方向性 維持・継続 ①父親・母親教室：1コース4日間5コース 20回 ②父親母親教室OB会：1コース1日間5コース 5回 ③離乳食講習会：前期12回後期6回 1歳6回 24回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はわかり講座 1回 ⑦育児相談 24回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計139回	①父親・母親教室：1コース4日間5コース 20回 ②父親母親教室OB会：1コース1日間5コース 5回 ③離乳食講習会：前期12回後期6回 幼児期6回 ④7か月相談 12回 ⑤あそびの広場 12回 ⑥育児の今・昔はわかり講座 1回 ⑦育児相談 24回 ⑧1歳6か月児健診 12回 ⑨2歳児歯科健診 12回 ⑩3歳6か月児健診 12回 合計130回	講座・教室等の開催回数(回)	133	133	133	133	A	5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したが、感染について不安を感じる保護者もいることから、感染対策は継続し事業を継続した。各種講座・健康診査を通して、必要な情報を提供し、相談先を周知し、相談内容に応じて対応することができた。	子育て支援課
	初妊婦とそのパートナーを対象に、出産や育児についての知識と技術を伝えるとともに、他の妊婦等と知り合うことや相談先を知るきっかけづくりとして父親・母親教室等を実施します。				127	130	134				

7	豊かな心・文化育 成事業	・小学校5校において芸術鑑 賞事業のための一部補助 ・中学校3校において部活動 の推進の補助及び進路指導に 係る諸経費の補助	・芸術鑑賞は、5校において町の 補助金を活用し実施した。 ・中学校3校に部活動の推進とし て大会参加費及び吹奏楽部へ の補助を行った。 ・中学校3校に進路指導に係る 諸経費の補助を行った。	進路指導、 部活動及び 芸術鑑賞の 取組学校数 (校)	14	14	14	14	A	・児童に様々な芸術に触れる機会を提供して、感性を高めるとともに、生涯学習の基礎づくりと充実を図ることができた。 ・中学校3校への部活動の充実に向けた補助をしたことにより、子どもたちの部活動を充実させることができた。 ・中学校3校において、進路指導に係る諸経費の補助を行うことにより、各校において効率的かつ丁寧な進路指導を行うことができた。	学校教育課
	児童生徒の実態を生かした知育・徳育の観点から、児童生徒が将来の進路や優れた芸術文化・スポーツに触れる機会を創出することで、豊かな心を育成するとともに、文化芸術に対する興味関心及び意識の向上を図るため、進路指導や部活動、芸術体験事業の充実のための支援を行います。				9	11	14				
8	「地域のせんせい」ふれあい推進事業	地域の人材を活用して、町内小・中学校における授業の補助、体験的学習等を行います。 (各校の実態による)	各学校が感染症対策の工夫を凝らしながら、地域の人材を活用することができた。	体験的教育活動と指導の項目数(件)	45	45	45	45	A	・新型コロナウイルス、及びインフルエンザ感染症の感染状況が落ち着いている時期に、各学校が感染症対策の工夫を行い、地域の人材を活用することで、有意義な過ごすことができた。 ・課題としては、毎年同じ地域人材を活用していることが多く、地域人材の高齢化に伴い、新規の人材を探していく必要がある。	学校教育課
	体験的な教育活動と個に応じた指導などの充実を図るため、地域協力者の活用を推進します。				40	46	51				

9	さむかわゆうゆう学園の実施	各課等で行われる年間の講座、教室等の情報をとりまとめた「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行する。 町内在住、在学の未就学児から中学生を対象に、ゆうゆう学園対象事業に1回参加するごとに、スタンプカードにスタンプを1個押し、10個スタンプを集めた申請者に修了証と記念品を贈呈する。	「さむかわ町民大学・さむかわゆうゆう学園ガイド」を年2回（上半期、下半期）発行した。 ・子どものための生涯学習情報紙「すきっぷ」にゆうゆう学園対象講座を掲載し、事業の紹介を行った。 ・スタンプを10個集めた申請者に対して「ゆうゆう学園修了式」を実施し、町長から修了証及び記念品を授与した。	修了証交付人数(人)	35	35	35	35	A	修了証申請者数は前年度と比べ倍に増え、第2次計画期間において初めて目標数値を達成することができた。「すきっぷ」や広報での制度の周知が多くの子どもたちの参加につながっている。引き続き、ゆうゆう学園対象の講座や教室を周知し、青少年に地域での学習機会を提供するとともに、修了証申請者数を増やしていきたい。	学び推進課
	青少年に地域での学習機会を提供し、学びに目を向ける動機づけとなるよう、町の機関等が実施する事業を取りまとめた参加を奨励します。				18	21	49				
10	子どもの読書活動推進に関する事業	【総合図書館】土曜日おはなし会、ぬいぐるみおとまり会、ジュニア司書講座、図書館・文書館体験ツアー、わくわく読書マラソン、おすすめカード募集、YA向け図書館通信発行、絵本小規模企画展示、児童向け展示、YA向け展示 等	・おひざにだっこのおはなし会（毎月第1日曜日、第4水曜日）22回・延べ114人 ・土曜日おはなし会（毎月第1・2・3土曜日）45回・延べ775人 ・出張わらべうた：4/13参加者6組、12/7参加者8組 ・夏のスペシャルおはなし会：7/29参加者44人 ・真夏の夜のおはなし会：8/27・参加者29人 ・冬のスペシャルおはなし会：12/17参加者56人 ・ぬいぐるみおとまり会：5/19～20参加者8人 ・ジュニア司書講座7/25～8/27（8回）参加者44人 ・わくわく読書マラソン：7～8月参加者310人 ・おすすめカード募集：7～8月参加者53人 ・図書館、文書館体験ツアー：8/10参加者9人 ・十進王国クイズラリー（毎月）参加者407人 ・児童書展示（10回）、絵本小規模企画展示（22回）、YA展示（6回）	子ども読書活動に関する事業の提供回数(回)	95	95	100	100	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、青少年を対象とした当該事業は令和2、3年度は減少していたが、令和4年度以降は順次再開。イベント等の読書活動推進の機会を提供している。総合図書館の図書展示は利用者アンケートでも評価が高く、今後は新たな利用者の増加につなげられるよう事業の推進をする。	教育政策課
	地域における子どもの読書活動を推進する上で、図書館は重要な役割であり、そのための人づくり、環境づくり、情報提供等の事業を実施します。				27	125	134				

11	青少年を対象とした公民館事業	【町民センター】にこにこ学習会、子どもプログラミング教室、星空観察会 等 【北部公民館】子ども卓球教室、マイコンプログラム教室、子ども実験教室 等 【南部公民館】ミュージックベル体験、子どもクッキング教室、子ども寄せ植え教室 等 【3館共通】イングリッシュキャンプ、書き初め大会	【町民センター】にこにこ学習会、TGG(東京英語村)バスツアー等16事業64回・延べ3,018人 【北部公民館】親子でホテル観察会、子ども実験教室等 20事業22回・延べ797人 【南部公民館】子どもクッキング教室、かけっこ教室等 18事業34回・延べ829人 【共通】ジュニア絵画展、応募作品数1642点 書き初め大会、参加者55人	講座・教室等の開催回数(回)	97	97	102	102	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館事業は令和2、3年度は減少していたが、令和4年度以降は再開し、令和5年度はさらに数多くの機会提供へつながった。 令和4年7月より、講座申込をインターネットでの入力フォーム方式を導入したところ、参加申し込みが以前より増加し、効果が見られた。	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、青少年を対象とした講座・教室等を開催します。		41	96	120						
12	青少年育成事業	・小学生農作業収穫体験(1回)5月20日(土)苗植え、8月5日(土)草取り、11月11日(土)芋掘り 定員30人 ・子どもまつり(1回) 6月3日(土) 定員150人 ・キャンプ(1回) ・青少年問題協議会(2回) ・創意くふう展(1回) ・成人式(1回) ・青少年指導員定例会(12回) ・ジュニア定例会・事業(11回) ・団体派遣(5回)※子ども会、公民館等	・小学生農作業収穫体験(1回)5月20日(土)苗植え、8月5日(土)草取り、11月11日(土)芋掘り27人参加 ・子どもまつり(1回) 6月3日(土)90人参加 ・小学生体験学習七宝焼きとクイズラリー(1回)10月28日(土)、24人参加 ・青少年問題協議会(2回)7月、2月、19人 ・創意くふう展(9～10月、1回)小学校31点、中学校8点応募 ・成人式(1回)1月8日(月)、361人参加 ・青少年指導員定例会(4～3月、11回) ・ジュニアリーダーズクラブ定例会(4～3月、6回)9人 ・ジュニアリーダーズクラブ事業(3回) ・ジュニアリーダーズクラブ団体派遣等※子ども会、公民館等(9回)	町が行う青少年健全育成事業開催数(回)	35	35	35	35	A	小学生農作業収穫体験においては、昨年度より多くの参加者を募ることができた。 小学生体験学習七宝焼きとクイズラリーについては24名の申込みがあり、実施後のアンケート結果も良好で、有意義な事業にすることができた。 ジュニア・リーダーズクラブについては、新規の依頼を受けるなど積極的な活動を行うことができた。 その他にも子どもまつり、小学生農作業収穫体験、創意くふう展、青少年問題協議会、成人式等の事業の開催や、青少年指導員連絡協議会、子ども会等の団体活動の支援を行うことで、青少年の健全育成につなげることができた。	学び推進課
	青少年の健全育成に向け、幅広い年齢層が参加できる事業の実施や指導員、リーダーの育成を図り、青少年活動を支援します。		4	30	36						

13	ふれあい塾運営事業	週3日(月・水・金)町立5小学校体育館で、指導員と見守りボランティアを配置し開催	週3日(月・水・金)町立5小学校体育館で、指導員と見守りボランティアを配置し開催 ※給食の無い日及び学校休業日は開催しない ・延べ参加人数:2,397人 ・実施日数:181日	参加人数(人)	7,450	7,450	7,450	7,450	C	令和5年10月から活動を再開した。寒川・一之宮・南小学校は、月・水・金の週3日実施できたが、旭・小谷小学校は、週1日～2日しか実施できなかったため、指導員や見守りボランティアの募集を続けていく。	学び推進課
	放課後の体育館を活用し、地域や児童クラブとの連携をとりながら、安心して遊べる場の提供、環境整備を行います。	※給食の無い日及び学校休業日は開催しない			0	0	2,397				

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策3】成人期における学習機会の提供

事業名		5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
NO	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
14	成人を対象とした 公民館事業	【町民センター】初心者ウクレレ講座、書道入門講座、メダカの飼育講座 等 【北部公民館】そば打ち教室、パステルアート教室、陶芸教室、 等 【南部公民館】エコクラフトかご作り教室、ボールペン習字、世界遺産講座 等	【町民センター】 初心者ウクレレ講座、歴史講座、朗読講座 等 24事業40回・延べ1762人 【北部公民館】 寄せ植え教室、和菓子作り教室、ニュースペーパーバッグを作ろう、初心者麻雀教室 等 21事業34回・延べ457人 【南部公民館】 ボールペン習字教室、簡単洋食料理教室、世界遺産講座 等 16事業32回・延べ802人	講座・教室等の開催回数 (回)	115	115	115	115	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館事業は令和2、3年度は減少していたが、令和4年度以降は再開し、数多くの機会提供へつながった。	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、成人を対象とした講座・教室等を開催します。				77	112	106				

15	労働講座等の開催	・寒川町商工会と町の共催で創業支援セミナーを実施予定 ・他市等広域で企業と高校の情報交換会を実施予定(令和5年6月8日予定) ・他市等広域で湘南合同就職面接会を実施予定(令和6年1月予定) ・労政問題懇話会と町が共催で労働講座を実施予定(実施日未定)	○労働講座 開催日:令和5年10月25日 会場:役場東分庁舎 会議室 参加人数:35名 ○湘南合同就職面接会 開催日:令和5年1月26日 会場:藤沢商工会館 ミナパーク 参加人数:61名(10代:20代:11名) ○企業と高校の情報交換会 開催日:令和4年6月8日 参加校数:23校 会場:藤沢市役所 ○寒川町ミニ面接会 開催日:令和6年3月12日 会場:ハローワーク藤沢 参加人数:12名 ○創業支援セミナー 開催日:9~10月 会場:寒川町商工会 参加人数:22名	講座・教室等の開催回数(回)	3	3	4	4	A	労政問題懇話会との共催による労働講座を開催し、勤労者等の積立投資に対する魅力に寄与した。 湘南合同就職面接会では、寒川町・藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・ハローワーク藤沢の主催で、神奈川県等と共催し感染症対策を行ったうえで実施し、若者の就労機会に繋がる事業を行った。 また、企業と高校の情報交換会について、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・大和市・綾瀬市・ハローワーク藤沢・ハローワーク大和及び各商工会議所(商工会)と共催で開催し、高校と企業の情報交換の場を創出した。 ミニ面接会については、参加者の工場見学等に繋がった。 その他、商工会との共催で町内での新規創業者・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催する事ができた。	産業振興課
	若者の職業的自立や勤労者の不安等の解消を目的として、講座等の開催や情報提供を行います。		4	4	5						

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向2】ライフステージに応じた学習機会の充実

【施策4】高齢期における学習機会の提供

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
16	高齢者を対象とした公民館事業	【町民センター】高齢者のための生き方講座、体にやさしい健康体操 【北部公民館】シニアクラス、スマホ教室、大人の超初心者パソコン教室 【南部公民館】シニアクラブ	【町民センター】健康講座 1事業2回延べ56人 【北部公民館】スマホを買う前のスマホ教室、ほくぶくらぶ、大人のパソコン超初心者教室、囲碁開放 9事業15回延べ527人 ※開放事業は回数は計上しない 【南部公民館】脳と身体の健康リトミック体操教室、囲碁・将棋開放 2事業6回延べ1,678人 ※開放事業は回数を計上しない	講座・教室等の開催回数(回)	10	10	15	15	A	高齢者を対象を絞った事業数は少ないが、成人対象事業の参加者は大半が高齢者層であり、学習機会の充実は図られている。高齢者世代に共通する課題、テーマなどを拾い上げ、企画を行う。	教育政策課
	ライフステージに応じた学習機会の充実を図るため、高齢者を対象とした講座・教室等を開催します。				13	10	23				

17	高齢者生きがいづくり等支援事業	令和5年度寒川町シニアクラブ連合会運営費補助金の交付。	シニアクラブ活動事業及びシニアクラブ連合会職員の人件費補助として当該補助金を交付した。 シニアクラブ連合会 シニアクラブ数:15クラブ 会員数:577人(3月末日時点)	シニアクラブ加入者数(人)	695	700	705	710	B	シニアクラブ連合会への補助金の交付及び事業の支援を通じ、町内の高齢者の生きがいや健康づくりを推進した。 シニアフェスティバル等の会員の増加につながるようなイベントを実施したものの会員の高齢化による退会や活動休止をするクラブもあり会員数としては減少した。会員増加につながる活動等のPRを行う必要がある。	高齢介護課
	地域での生きがいづくり、健康づくり推進のため、シニアクラブの活動を支援します。				606	601	577				
18	介護に関する講座等の開催 (介護予防事業)	元気はっけん広場(集合版) 4月～3月 12回を1クールとし4クール開催。1日に午前・午後の2回開催、それぞれ30名 元気はっけん広場(在宅版) 8月～11月 12回定員24名 高齢者健康トレーニング教室 6月～1月(8月除く) 8回を1クールとし3クール開催。定員20名 介護予防講師派遣事業4月～3月 申請に応じて指定場所に講師を派遣。 ボールウォーキング体験会5月、10月 定員10名	前年度同様感染症対策を施しての事業実施となった。緊急事態宣言等による事業の中止もなく、元気はっけん広場と高齢者健康トレーニング教室は予定通りに開催でき、講師派遣事業も前年より40件増となった。	講座・教室等の開催回数(回)	173	179	186	192	A	前年度で定員割れが起きたため、高齢者には特定の曜日が町主催介護予防教室の日と深く認識されていることを鑑み、曜日を以前のように固定して行った。どの回も定員割れは起きずに行うことができた。	高齢介護課
	高齢者の社会参加、介護予防に関する学習機会を提供します。				150	211	240				

【基本目標 1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向 3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策 1】スポーツ・健康について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
19	スポーツ活動応援事業	かながわスポーツ月間の10月に合わせたスポーツデイの実施や、町民誰でも参加可能なレクリエーションフェスティバル、ボッチャやスカットボールなどのニュースポーツ講習会を予定。	○観桜駅伝競走大会 1回 ○初心者弓道教室(全8回) 1回 ○2023さむかわスポーツデイ 1回 ○レクリエーションフェスティバル1回 ○湘南スポーツキッズフェスタ1回 ○頑張らないウォーキング教室1回 ○ニュースポーツ講習会(シニアクラブ全4回) 1回 ○ニュースポーツ講習会(大曲自治会) 1回	講座・教室・大会等の開催回数(回)	13	15	17	19	C	令和4年度に町主催で実施していた「ヘルスライフアカデミー」や「テニス教室」は、令和5年度より町営さむかわテニスコート（指定管理者が教室展開）にて実施しているため、実績値が低くなっている。令和5年度も同性質の教室を指定管理者が自主事業として実施しているため、町民に対する教室機会の提供数は減っていない。 今後について、指定管理者導入目的の一つである民間企業のノウハウを活かした教室展開を実施するとともに、町主催事業においては、町民のニーズに合った教室を検討し、実施していきたい。	スポーツ課
	スポーツ活動の推進を図るため、町民に各種スポーツに関する教室・大会等の学習機会を提供します。				11	14	8				
20	健康運動ボランティアによる地域活動の開催	健康づくり体操の日を4月から令和6年3月まで実施。年24回を予定。 地域活動支援は町事業、出前講座の依頼状況を見て実施予定。	健康づくり体操の日は全24回すべて実施。延べ参加人数1,154人。令和5年度はコロナ禍による人数制限等なく実施できたため、昨年度より大幅に参加人数を増やすことが出来た。 また、健康運動ボランティアの地域活動について、団体等からの依頼が8件、町事業を含めて計16回の活動を実施。	健康運動ボランティアの地域活動の実施回数(回)	45	45	45	45	B	令和5年度より、コロナ禍による人数制限等なく健康運動ボランティアの活動を実施することができ、昨年度より多くの参加いただけた。これまでコロナ禍において外出の機会が減っていたこともあった中で、運動を通じた活動の機会を提供することができた。 コロナ禍による制限等がなくなったことにより団体からの依頼が増えてきているが、ボランティアの人数が減っているグループもあるため、依頼とボランティアとの調整が課題。 また、健康運動ボランティアの高齢化や新型コロナウイルス感染症を機に健康運動ボランティアの活動方法の見直しを行ったため実績値は目標を下回った。	健康づくり課
	健康運動ボランティアによる地域活動を行い、学習の機会を提供します。				0	44	40				

【基本目標 1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向 3】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策 2】環境について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
21	環境に関する講座等の開催	例年の事業に加え、令和5年度から新規事業として「自然観察の森での環境学習会」を実施します。 ※野外学習については荒天等の状況により中止となる場合があります。	第3次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、町と環境団体との連携のもと以下の学習講座等を実施し身近な環境体験の機会の増加と環境問題への意識向上を図った。 1. 環境フェスティバル(5月)実施 2. 環境教室(5月)実施 3. 川の生き物調査隊(7月)実施 4. 森の大切さを知ろう(8月)実施 5. 親子環境バスツアー(8月)実施 6. 河原の自然で遊ぼう(9月)実施 7. 環境バスツアー(11月)実施 8. 住みよいまちづくり条例ポスター展(12月)実施 9. 気候変動講演会(12月)実施 10. 環境保全研修会(1月)実施(対面開催) 11. 野鳥観察会(1月)実施 12. 自然観察の森での環境学習会(3月)実施	講座・教室等の開催回数(回)	10	11	11	11	A	新型コロナウイルスが5類移行に伴い、計画通りすべての事業を開催することができた。どの事業も町民から多くの申込みがあり、積極的に環境学習に参加してもらえた。しかし申込み人数が限られている事業に関して、直前のキャンセルなどに柔軟に対応し、一人でも多くの町民に参加いただけるよう工夫が必要だと感じた。今後も町民自らが環境の大切さを学ぶ場として事業を続けていきたいと思う。	環境課
	環境問題の認識を深めるため、環境教育・学習の場の提供を推進します。				5	8	12				

【基本目標１】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向３】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策３】安全について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
22	防災に関する教室の開催	各種団体、学校、保育園等において、防災に関する講座、教室等を実施します。	各種関係団体において、講習会や研修会を実施した。 6/17 寒川町福祉団体協議会 13名 7/1防災リーダー研修会 26名 9/27公明党寒川支部 50名 10/21避難所開設訓練 11/16親子の会 13名 11/16北部生涯学習推進会議 15名 1/16～2/7町内6保育園・幼稚園 3/26防災講演会(web動画) 視聴数:172回	講座・教室等の開催回数(回)	11	11	11	11	A	町民、各種団体等の防災意識の高まりから、目標数値を上回った。 また、防災講演会も昨年同様に動画配信形式で実施した 今後も自助・共助の重要性から、継続的に実施していく必要がある。	町民安全課
	防災意識の高揚を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				2	10	13				
23	交通安全教室の開催	小学1年生（歩行教室）及び3年生（自転車教室）を対象に交通安全教室を茅ヶ崎警察署と協力し1学期前半（4～6月）に開催する予定。	小学1年生(歩行教室)、小学3年生(自転車教室)を対象に交通安全教室を実施した。(茅ヶ崎警察署と協力) また、要望があった町内の保育園、幼稚園においても交通安全教室を実施した。(茅ヶ崎警察署と協力)	講座・教室等の開催回数(回)	6	6	6	6	A	小学生対象の交通安全教室(1年生歩行教室、3年生自転車教室)を継続して、実施していきたい。 また、高齢者向けの講習も実施していく必要がある。	町民安全課
	交通安全意識の高揚を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				5	10	8				
24	消費生活に関する講座等の開催	町内自治会等へ消費生活関連の講座等を1回実施します。	シニア向けスマートフォン教室開催 開催日:令和5年12月19日、22日、令和6年1月12日 場 所:町民センター視聴覚室 講 師:ソフトバンク認定講師、KDDI株式会社認定講師 参加人数:40名(12/19:19名、12/22:12名、1/12: 9名)	講座・教室等の開催回数(回)	1	1	1	1	A	スマートフォンで「不当請求」の体験と不当請求等の対策を学ぶ機会を提供することができた。 昨年度はとても申し込みが多かったため、今年度はデジタル推進課と連携し、3回開催することができた。	町民窓口課
	町民が安心できる消費生活を送れるように、講座等の学習機会を提供します。				1	1	3				

【基本目標１】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向３】学習ニーズ・現代的課題への対応

【施策４】生活課題について知り・学ぶ機会の充実

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
25	福祉に関する講座等の開催	町内の全小中学校における福祉を育む学びの場づくり、地域における福祉体験の場づくり（地域講座）、地域福祉フォーラムの開催、介護に関する入門的研修の開催、成年後見講座の開催、各種ボランティア講座の開催、各種出前講座の開催、認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座、キッズサポーター養成講座、ボランティア体験会、ふれあい福祉フェスティバル等	●町内の全小中学校における福祉を育む学びの場づくり（町内5校の小学校、3校の中学校で、全20の福祉体験等を実施） ●地域における福祉体験の場づくり（地域講座）（町内の公共施設や団体あてに8ヶ所で開催） ●地域福祉フォーラムの開催（参加申込みが無く流会） ●介護に関する入門的研修の開催（基礎講座（3時間30分）受講者39名、入門講座（23時間・4日間）受講者13名） ●成年後見講座の開催（講師：親なきあと相談室 渡部伸氏、参加者35名） ●各種出前講座の開催（民生委員、シニア連、地域サロン等で実施） ●認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座・キッズサポーター養成講座（合計17回実施） ●ボランティア体験会（全3回、参加者55名） ●ボランティアまなびあい講座（3日間、全12のプログラム） ●ふれあい福祉フェスティバル（体育館で開催、参加団体37、来場者約2000人） ●きんじろうルーム（夏休みの宿題のための自習室、全7日間実施）等	講座・教室等の開催回数（回）	40	40	40	40	A	コロナが5類になり、対面や集合で開催する講座等が、より開催しやすくなり、活発になりました。多種多様な場所、内容、講師（サポーター）で、より多くの福祉に関する学びの場を広め、普及啓発に努めていきます。	福祉課（社会福祉協議会）
	地域福祉の活発化、理解を深めるための講座や学習機会を提供します。				41	73	74				

26	男女共同参画推進事業	引き続き、(2市1町) 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 人権及びジェンダー平等・男女共同参画特別講演会を1回、神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業での講演会を1回開催します。	①(2市1町) 藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町広域連携事業 開催日:2023年(令和5年)11月22日(水) 会 場:茅ヶ崎市役所分庁舎6階コミュニティホール 講 師:能條桃子(のうじょう ももこ)氏 一般社団法人NO YOUTH NO JAPAN代表理事、一般社団法人NewScene代表、FIFTYS PROJECT代表 テーマ:「当事者を政治の場へ～若い世代・女性の政治参加促進の活動から～」 参加人数:55名 ②神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業 実施日:2023年(令和5年)12月18日(月)～2024年(令和6年)1月31日(水) 実施場所:YouTubeによる動画配信 講 師:並木 友里(なみき ゆり)氏 テーマ:仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座～自分も相手も大切にするアサーションを学ぼう～ 参加者数:223名	講座・教室等の開催回数(回)	2	2	2	2	A	①政治分野のジェンダー不平等をテーマとし、政治分野のジェンダー不平等を解消するために、女性や若者の政治参加をもっと身近なものにするために、何が必要で、どういったことから始められるのかを考えるきっかけとなる講演会を企画実施した。 講師からは、女性や若い政治家が少ないと何が問題なのか、増やすためにはどうしたらよいのか、といった視点でお話いただいた。 女性や若者の政治参画について考えるきっかけとなり、更には、ジェンダー平等・男女共同参画についての理解促進し、あらゆる分野で男女が平等に活躍する社会の実現につながる講演会になった。 ②職場や家庭でのコミュニケーションを良好にするために何が必要なのか考えるきっかけを提供することができた。 アンケートでは「自分のコミュニケーションを見直すきっかけとなった」等の声をいただいた。 今後の課題は、アンケートにて対面の方が理解しやすいように感じたが、自分の好きな時間で視聴できるオンライン開催も魅力であるといった声もいただいたので改めて開催方法について検討する必要もある。	町民窓口課
	男女共同参画社会実現に向けた意識啓発を図るため、講座・教室・講演会等の学習機会を提供します。				2	2	2				

27	平和推進事業	平和パネル展を開催し、平和思想の普及・浸透を図ります。 令和5年度は2回します。	・平和パネル展① 開催日:2023年(令和5年)8月10日(木)~8月20日(日) 場 所:寒川総合図書館 テーマ:川崎大空襲から平和について考える 来場者数:8,302人 ・平和パネル展② 開催日:2024年(令和6年)2月1日(木)~2月14日(水) 場 所:北部文化福祉会館 テーマ:イラク、戦争と子どもたち 来場者数:集計していません。	平和推進事業の開催回数(回)	1	1	1	1	A	令和5年度は平和パネル展を2回開催することができ、多くの方、幅広い世代の方に平和思想の普及・浸透を図ることができた。	町民窓口課
	平和思想の普及・浸透を図るため、展示・講演会等の学習機会の提供を図ります。				1	1	2				
28	家庭教育支援に関する事業の開催	【町民センター】ママとベビーのふれあい体操、親子工作教室、星空観察会 【北部公民館】親子ホテル観察会、親子アイスクリーム作り教室、百人一首かるた大会 【南部公民館】親子でクラフト教室、親子リトミック教室、親子ふれあい促進講座 【総合図書館】おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会	【町民センター】 えいごであそぼう、ママとベビーのふれあい体操、親子工作教室、星空観察会、みんなでたのしみオペラ「ヘンゼルとグレーテル」 5事業5回、延べ250人 【北部公民館】 おはなし図書館、夏休みおはなし図書館、バルーンで遊ぼう、親子でホテル観察会、北部ハロウィン 5事業11回、延べ131人 【南部公民館】 おはなし広場幼児、親子でクラフト教室、親子でリトミック教室、クリスマス広場、親子で和菓子体験教室、親子寄せ植え教室、新米パパママのためのお助け講座 7事業30回、延べ573人参加 【総合図書館】 おひざにだっこのおはなし会、出張わらべうた会 2事業24回、延べ68組参加	講座・イベント等の実施事業数(件)	6	8	8	8	A	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供することができた。	教育政策課
	子育て家庭を支援するため、地域での家庭教育や親子参加型の講座・イベント等の参加しやすい活動を工夫し、機会を提供します。				12	18	19				

29	現代的・地域的課題に関する講座等の開催	【町民センター】ボランティア育成講座、地域の語り部による講座、環境講座、人権講座、平和講座、防犯講座、近隣施設見学 【北部公民館】スマホを買う前のスマホ教室、シニアクラス、メンズクッキング、寒川歴史散歩、お飾り作り教室 【南部公民館】メンタルヘルスセミナー、自治会納涼盆踊り講座、一之宮を再発見しよう講座、文書館出前講座、世界遺産講座、寒川神社を知ろう講座 【3館共通】イングリッシュキャンプ、だがしや楽校	【町民センター】健康講座、東洋大学出張講座、だがしや楽校、薬剤師から学ぶ薬の正しい飲み方講座、地域の語り部講座(祭ばやし体験)、川崎市平和館見学バスツアー 6事業7回、延べ510人参加 【北部公民館】親子でホテル観察会、スマホを買う前のスマホ教室、大人のパソコン超初心者教室、環境講座、寒川歴史散歩、お飾り作り教室、ほくぶくらぶ①ニューススポーツ、②ヘルシークッキング、③防災講座、④太極拳、⑤ウェルネス体操、⑥大人の社会見学 7事業19回、延べ169人参加 【南部公民館】新米パパママのためのお助け講座、さむかわイングリッシュキャンプ(成人)、だがしや楽校、寒川神社をもっと知ろう講座、一之宮サマーフェスティバル盆踊り練習会、寒川中学校吹奏楽部楽器体験、西寒川支線の歴史講座、インターネット被害未然防止講座、国登録有形文化財登録記念講演会、関東大震災 寒川の被害と復興 10事業11回、延べ230人参加 【総合図書館】みんなの映画会(バリアフリー映画会)、読み聞かせ講座 2事業2回、39人参加	講座・教室等の開催回数(回)	15	16	18	20	A	趣味、教養、青少年向け等の住民のニーズの高い講座と比較して、現代的課題をテーマとした講座は定員に満たない場合もあるが、実施する意義は大きい。参加者アンケートで受講者の評価は高いが、関心を惹き、参加してもらうまでの工夫が必要。公民館利用者は70代以上のシニア女性の参加が多いことから、子育て世代・勤労世代や男性の参加が増えることが望ましいと考える。図書館の読み聞かせ講座の参加者からおはなし会ボランティア登録につながり、地域活動に繋がっている。	教育政策課
	現代的・地域的課題に関する講座・教室等の学習機会を提供します。		27	31	39						

【基本目標１】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向４】学習環境の充実

【施策１】施設の有効活用

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
30	青少年広場の有効活用	開場時間 ・ 4月～9月…9時00分～18時00分 ・ 10月～3月…9時00分～17時00分 ※12月29日から1月3日を除く。 貸出施設 グラウンド、多目的広場、バーベキュー場	・グラウンド 年間利用件数:441件 年間利用人数:16,940人 ・多目的広場 年間利用件数:181件 年間利用人数:6,021人 ・バーベキュー場 年間利用件数:136件 年間利用人数:5,705人	年間利用者数(人)	28,000	28,000	28,000	28,000	A	年間を通して多くの利用者があり有意義だった。	学び推進課
	グラウンド及び多目的広場等の貸し出しを行います。				27,566	31,551	28,666				
31	図書館の有効活用	【総合図書館】回想サロン、宿題おたすけ講座、ジュニア司書講座、大人向け絵本紹介講座、バリアフリー映画会、おはなし会ボランティア活動、配架書架整理ボランティア活動	①開館日数:総合図書館292日、分室310日 ②利用件数(資料貸出点数):271,029点 ③利用者数:203,317人 ④図書館講座(成人対象)回想サロン、3/21、3人参加 みんなの映画会、11/19、17人参加 大人向け絵本紹介講座、5/28、16人参加 図書館映画会、6/7、12人参加、9/6、11人参加 朗読会、9/10、15人参加 布おもちゃ講座、6/4、9人参加 読み聞かせ講座、2/2、22人参加 図書館コンサート、11/3、54人参加、1/20、49人参加	年間利用者数(人) (総合図書館、北部分室、南部分室の総計)	320,000	320,000	330,000	330,000	C	令和5年9～10月に図書館システム入替により臨時休館の影響もあり、来館者数、貸出点数共に前年度減となっている。新型コロナウイルスの影響で、読書ばなれや図書館利用の減少が加速しており、新たな利用者拡大に向けた取組が必要となっている。 子どもの読書活動推進のために、図書館来館促進には保護者の協力が必要であり、町民にとって身近な施設と感じてもらえるよう、周知活動が重要である。	教育政策課
	町民のニーズに即したサービスを展開し、町民のだれもが、いつでも、どこでも身近に利用できる図書館を目指します。				239,407	229,922	203,317				

32	公民館の有効活用	【町民センター】62事業実施予定 【北部公民館】52事業実施予定 【南部公民館】49事業実施予定	【町民センター】 利用団体数:5,731団体 利用者数:65,090人 事業実施数:56事業、9,590人参加 【町民センター分室】 利用団体数:899団体 利用者数:9,188人 【北部公民館】 利用団体数:1,904団体 利用者数:18,339人 事業実施数:59事業、4,466人参加 【南部公民館】 利用団体数:2,612団体 利用者数:28,120人 事業実施数:47事業5,394人参加	年間利用者数(人) (町民センター、町民センター分室、北部公民館、南部公民館の総計)	140,000	150,000	160,000	170,000	B	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の利用団体数、利用者数が大幅に落ち込んでいたが、令和4年度以降は回復しつつある。利用団体数はコロナ以前の水準に戻ったが、利用者数はサークルの高齢化、固定化によるサークルの会員数が減少や、新規サークルは会員数が多くないことから、利用者数は目標値に達しなかった。しかし、前年度より2万人増となっており、今後も既存サークルへの加入支援と、新規サークル結成の支援を両輪で推進していく。	教育政策課
	地域の生涯学習活動の拠点として、サークル等への施設貸出、各種講座等を開催します。			84,806	109,614	120,737					
33	寒川総合体育館の有効活用	寒川総合体育館では施設貸出以外にスポーツ系自主事業や文化系自主事業を取り入れることで、幅広い利用者を確保している。	① 開館日数:347日 ② 利用件数:7,995件 ③ 利用者数:182,479人 ④ IT施設予約:有	年間利用者数(人)	143,500	179,000	214,500	250,000	B	令和5年度は、建具工事や空調機設置工事により一部期間、施設が使用できなかった。しかしながら、指定管理者の企業努力により自主事業等を積極的に展開し、利用者数は増加した。今後も地域のスポーツ推進活動の核となる施設として、ニーズに合わせた施設運営及び自主事業の展開に努めていきたい。	スポーツ課
	施設の貸し出しや指定管理者による自主講座等を実施します。				150,167	174,166	182,479				
34	スポーツ施設の有効活用	令和5年より寒川町営さむかわテニスコートの開設を指定管理者制度を導入し、ハヤシグループにて再開。夜間照明を設置し、利用機会を創出。	①開放日数 田端:360日 倉見、川ふれ:366日 町営さむかわテニスコート:319日 町営プール:62日 ②利用件数 田端:1,656件 倉見:819件 川ふれ:1,886件 町営さむかわテニスコート:3,110件 町営プール:個人利用のみのため該当なし ③利用者数 田端:45,681人 倉見:8,706人 川ふれ:15,414人 町営さむかわテニスコート:10,961人 町営プール:34,343人	年間利用者数(人) (倉見スポーツ公園、田端スポーツ公園、川とのふれあい公園、町営プール、さむかわ庭球場の総計)	88,000	91,000	95,000	98,000	A	令和5年度より寒川町営さむかわテニスコートにおいても指定管理者制度を導入した。各施設同制度導入後、民間企業の活力を活かした施設運営がなされており、利用者からの評価も高い。直営施設については、定期的に現場確認を実施するとともに、利用予約の際にニーズを聞くなど快適な施設提供に努めた。結果、目標数値を大きく上回る実績値となった。今後も、安全に楽しく利用してもらえるよう適切に業務を遂行していく。	スポーツ課
	登録団体等への貸し出しや指定管理者による自主事業を実施します。				121,772	97,666	115,105				

35	学校体育施設の有効活用	学校体育施設等を地域の団体に開放し、学校施設の有効活用を図る。	学校体育施設等を地域の団体に開放し、学校施設の有効活用を図る。	年間利用可能件数に対する利用率(%)	60.0	60.0	60.0	60.0	A	学校体育施設等を、学校教育に支障のない範囲で地域の団体に開放し、社会教育その他公共のために活用できた。 なお、令和5年度に公用等により開放を制限したコマ数は1,508。 全施設分を合計した平均利用率は72.7%となり、指標値を上回ったことからA評価とした。	教育施設給食課
	学校体育施設等を地域の団体に開放します。	・体育館 小学校 4,038/6,730コマ≒60% ・体育館 中学校 646/1,077コマ≒60% ・グラウンド 小学校 951/1,585コマ≒60% ・グラウンド 中学校 370/616コマ≒60% ・南小学校ふれあいホール 807/1,346コマ≒60%	・体育館 小学校 4,745/5,794≒81.9% ・体育館 中学校 928/950≒97.7 ・グラウンド 小学校 1,035/1,418≒73.0 ・グラウンド 中学校 297/580≒51.2% ・南小学校ふれあいホール 162/1,121≒14.5%		65.5%	74.5%	72.7%				
36	文書館の有効活用	▼開館中は、随時、閲覧・レファレンス対応を行う。 ▼企画展示2回、ミニ展示1回、古文書講座を開催し、収蔵資料の利活用を促す。	▼閲覧件数 118件 ▼レファレンス件数 302件 ▼企画展示「関東大震災-寒川の被害と復興-」(令和5年10月17日～同年12月28日)を開催した。 ▼企画展示「寒川・学校給食の始まり」(令和6年1月27日～同年3月31日)を開催した。 ▼ミニ展示「卯年のできごと」(令和6年1月13日～3月31日)を開催した。 ▼古文書講座(令和5年10月～令和6年2月まで計5回)を開催した。	年間利用者数(人)	542	547	552	557	B	令和5年9月18日から10月5日まで図書館システム入れ替えのため臨時休館とした影響もあってか、前年度の年間利用者数から減少する結果となった。図書館、学校との連携強化や、利用者数の増加につながる普及事業の内容について引き続き検討し、実施していく。	総務課
	館蔵資料の閲覧、レファレンスを行うとともに講座や企画展等を開催します。				510	445	420				
37	地域集会所の有効活用	地域集会所の指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会(地域集会所を所管する自治会を中心とした運営委員会の集合体)に委託し、施設の有効活用を図る。	指定管理を地域集会所運営委員会連絡協議会に委託し、施設の有効活用を図った。 目標数値には届かなかったが、過去二年間と比較して利用件数は順調に増加した結果となった。	年間利用件数(件)	3,700	3,700	3,700	3,700	B	成果：寒川町公共施設再編計画による地域集会所の方向性について、年度半ばに利用者アンケートを実施する等の方法で、現状や課題の把握に努めてきた。 課題：台風や豪雨による雨漏りの修繕や経年劣化による空調機の交換等が必要な集会所が多くある。	町民協働課
	地域住民活動での活用を図ります。				1,791	2,464	3,089				

【基本目標 1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向 4】学習環境の充実

【施策 2】参加しやすくするための環境づくり

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
38	講座開催時の託児の実施	講座内容により託児を実施する。	講座内容に応じて、子育て中の人が参加しやすくなるよう託児を行った。	講座・教室等での実施件数(件)	45	45	50	50	C	子育て関係の事業において、託児ありで参加者を募集した講座や教室等は6件で、実際に希望者がいて実施された件数も同数だった。引き続き、子育て世代が安心して講座等に参加することができるよう託児を実施していく必要がある。	各事業担当課
	子育て世代が学習活動に参加しやすくなるよう、講座・教室等の開催時に託児を実施します。				2	5	6				
39	手話通訳・要約筆記等の配置	講座内容により手話通訳・要約筆記の派遣を実施する。	講座内容や参加者の状況に応じて、手話通訳を配置した。	講座・教室等での実施件数(件)	10	10	10	10	A	4課において手話通訳13件、要約筆記1件の配置を実施した。引き続き、全ての人が学習に参加しやすい環境づくりを進めるため、手話通訳や要約筆記の配置を実施していく必要がある。	各事業担当課
	障がい者が学習活動に参加しやすくなるよう、講座・教室等の開催時に手話通訳や要約筆記等を配置します。				6	5	14				

40	夜間・休日の講座開催	講座内容により勤労者などの参加しやすい時間帯、曜日で実施する。	講座内容に応じて対象者が参加しやすい平日の夜間や休日に開催した。	平日夜間・休日の講座・教室等の開催回数(回)	255	255	255	255	A	講座内容や対象者に応じて、平日夜間や休日に講座や教室を開催し、参加しやすい環境づくりを進めることができた。	各事業担当課
	平日昼間に講座等の学習活動に参加することが困難な人のために、平日夜間や休日にも講座・教室等を開催します。				153	314	260				
41	講座開催時のアンケート調査の実施	開催する講座・教室において、参加者に対しアンケート調査を実施する。	講座・教室参加者にアンケート調査を実施した。	講座・教室等での実施件数(件)	250	250	250	250	A	引き続き、参加者の満足度や意見等を把握し今後の講座等の実施に活かしていくため、アンケート調査を実施していく必要がある。	各事業担当課
	参加者の意見を聴取し、満足度や課題などを把握することで、参加しやすい環境づくりを推進するため、講座・教室等開催時にアンケート調査を実施します。				170	327	320				
42	インターネットを活用した参加申込	開催する講座・イベント等について、Eメールやホームページからの申し込みが出来るようにする。	講座・教室等の申し込みについて、Eメールやホームページ上からも行えるようにした。	講座・教室等での実施件数(件)	15	20	25	30	A	動画配信やオンライン開催の実施に伴い、インターネットによる参加申込件数が増え続けている。また、公民館ではホームページに設定した申し込みフォームからの利用が多く、特に青少年向けの講座は参加申込者が増えている。 ※公民館事業のインターネットからの申込受付を行った件数は未集計のため、実際の実施件数は多数にのぼる。	各事業担当課
	講座・教室等の開催時にEメールやホームページからの申し込みなど、インターネットを活用した申込受付を実施します。				39	※33以上	※32以上				

【基本目標１】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向４】学習環境の充実

【施策３】関係機関との連携による学習の支援

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
43	県、各自治体、専門機関との連携	・藤沢市、茅ヶ崎市と連携し、湘南広域都市行政協議会広域文化活動部会事業を実施する。 ・茅ヶ崎市との連携事業はR3年度をもって終了としたため、今後は町の課題や現状を踏まえ、生涯学習活動の充実を図る。	令和5年度の広域文化活動部会では、各市町の文化行政の在り方について情報交換を行ったり、各市町で抱える課題を洗い出し意見交換をしたりするなど、今後部会で取り組むべき課題について整理し、検討を行った。また、既存の文化団体がどのような支援を必要としているのか把握するため、アンケート調査を実施した。	連携事業数 (件)	2	2	2	2	D	部会の中で既存の文化団体にアプローチをするのか、それとも新たにターゲットを決めてアプローチするのか、方向性が定まっていなかった。そのため、既存団体が何を望んでいるのかアンケート調査を実施し、団体の現状把握をすることにした。調査対象や調査項目について、意見交換を行った結果、今回は各市町で繋がりのある文化団体に対象を限定し、調査項目は、SNSの活用に関連した内容とし、最後にSNS活用に関する講習会の参加意思の有無について設問を設け、次のステップへ進むときに対象者を広げていく方向としたが、集計結果により、既存団体はSNSの活用に対して消極的であることが判明した。この結果からは、既存団体をターゲットとしてSNSに関して今後の事業を進めるのは、既存団体が支援を求めている可能性が高いと考えられることから厳しいと認識した。	学び推進課
	県や周辺自治体、専門機関等と連携し、町民の学習支援体制の充実を図ります。				1	0	0				
44	大学等の教育機関との連携	2～3月に文教大学の教授等を講師とした「文教大学出張講座」を開催する。	【令和5年度文教大学出張講座】 テーマ：「インターネットやSNSの社会における役割や影響などについて」 ・日時 令和6年3月24日(日) 午前10時～正午 ・参加者 2名 ・講師 白土由佳氏(情報学部メディア表現学科専任講師) ・手話通訳2名配置	連携事業数 (件)	1	1	1	1	A	事前申し込みが少なく町公式LINE等でも周知を行ったが、当日は欠席者も出たので、結果的には前年度に比べて参加者数が大幅に減少してしまった。テーマが「インターネットやSNS」に関する内容であったため、難しい内容と捉えられてしまい申込者が少なかったと想定される。 講座自体は、講師の大変丁寧な説明と参加者に寄り添った対応のおかげで、アットホームな雰囲気の中で進めることができた。先生ご自身のお話や学生の話など具体例を示しながら、インターネットやSNSについて様々な角度から話をしていただいたので、大変分かりやすかった。 次年度以降も時代に即したテーマや内容の検討を行いながら、参加者も増やせるよう、講座を企画していきたい。	学び推進課
	大学等の教育機関と連携し、町民の学習支援体制の充実を図ります。				0	1	1				

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向1】学習成果を発表する機会の充実

【施策1】学習成果を発表する場の提供

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
45	文化祭の開催	第54回寒川町文化祭を町民センター等で開催する。 (10/7～11/12)	【第54回寒川町文化祭】 ・キャッチコピー「手を繋ぎ 楽しさ広がる 寒川町文化祭」 ・開催期間 10/7(土)～11/12(日) 37日間 ・参加者及び見学者数 4,369人 ・事業数 20(10/7の式典含む)	参加者及び見学者数 (人)	7,000	7,000	7,000	7,000	C	式典の後に4年ぶりにヤングダンスフェスタを開催したことで会場は大いに盛り上がり、文化祭の開会にふさわしい幕開けとなった。参加団体は18(1団体が不参加)で、参加者数及び見学者数は目標値に届かずC評価となったが、参加団体の日頃の活動の成果を発表できたことは、会員のモチベーションの維持にもつながったと考えられる。イベントが複数ある日程においては、集客が見込めるが、単独でのイベントであると見学者が少なくなってしまう傾向があるため、今後は開催期間を短くしても、イベントを同日にまとめていくことを検討していきたい。また、幅広い世代の集客につながるようSNSを活用し、周知に力をいれていきたい。	学び推進課
	文化祭を開催し、文化芸術活動の成果を発表する場を提供します。				0	4,425	4,369				
46	公民館まつり等の開催	【町民センター】さむかわダンスフェスティバル、さむかわ合唱祭、さむかわ音楽祭 【町民センター、北部公民館、南部公民館共通】公民館まつり、だがしや楽校	●サークル入会体験フェスタ 【3館共通】 実施①:5月1～31日、参加者数:29人 サークル新規加入者数:11人 実施②:11月1日～30日、参加者数:30人、サークル新規加入者数:11人 ●公民館まつり 【町民センター】3/9、10/来館者1300人 【北部公民館】3/16、17/来館者2366人 【南部公民館】3/23、24/来館者1258人 ●だがしや楽校 【南部公民館】9/16、参加者58人 【町民センター】12/9、参加者332人 ●ブルースハーブ・ライブ・セッション、5/27、150人(公民館サークル参加) ●さむかわダンスフェスティバル、7/29、486人(10団体参加) ●さむかわ合唱祭、9/3、309人(12団体参加) ●さむかわ音楽祭、10/28～29、865人(18団体参加)	発表する場の提供数 (件)	8	8	8	8	A	公民館まつりで、模擬店やバザーなどを令和5年度から再開し、各館ともに多くの来館者があり、コロナ以前のような賑わいが見られた。ダンスフェスティバル、合唱祭、音楽祭には昨年度まではコロナ対策で参加を見送っていた団体が参加を再開し、町民が発表する機会の提供ができた。だがしや楽校は町民センター会場は過去最高の参加者があり、親子連れが多く、体験活動へのニーズが感じられた。	教育政策課
	公民館まつりやダンスフェスティバル、だがしや楽校等を開催し、町民が学習成果を発表する場を提供します。				10	11	11				

【基本目標２】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向２】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策１】ボランティアの育成・活動支援

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告							担当課	
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価		事業の成果・課題等
					R3	R4	R5	R6			
47	福祉ボランティアの育成・活動促進	ボランティア体験会、各種ボランティア講座、シニアげんきポイント説明会、ふれあい福祉フェスティバル等	●ボランティア体験会（ボランティアは5団体48人で子どもの学びをサポート、その他、個人のボランティアが移動や学びをサポート、同じ内容を3クール実施し、毎回子どもが全員入れ替わり、体験参加者は55名でした）●各種ボランティア講座（ボランティア学びあい講座、3日間、全12のプログラムを実施、受講申込みのべ16名、ボランティア登録を完了した方6名）●シニアげんきポイント説明会（1回、参加者3名、全員が活動者登録完了）、ふれあい福祉フェスティバル（参加団体37、来場者約2000人等）●ボランティア交流会（2回開催、合計46名の参加）●ボランティア活動室の利用301件●地域活動応援ルーム（地域で活動する方の活動・交流拠点、利用者143名）●ボランティア活動のべ人数1855人●ボランティア相談51件●ボランティアグループ立ち上げ支援●新規のボランティア登録25名●寒川町ボランティア連絡協議会の活動支援	社会福祉協議会ボランティアセンターの個人登録ボランティアの登録者数 (人)	150	150	150	150	A	コロナが5類になり、ボランティア活動も活発になってきました。より多くのボランティア活動の場を社協ボランティアセンターとして新たに企画したり、ボランティア活動室や地域活動応援ルームの利活用を促進する取り組みをしました。今後も、ボランティア活動の裾野を広げ、ボランティア活動が活発に展開されるように取り組みます。	福祉課（社会福祉協議会）
	地域で福祉活動に関わる人材やボランティアの育成や活動支援をします。					125	141	138			

48	健康運動ボランティアの地域活動の支援	健康運動ボランティア養成講座を以下の日程で開催予定。 6月8日（木）、6月21日（水）、7月5日（水）、7月26日（水）、8月2日（水）、8月9日（水）全6回	全6回すべて実施。延べ参加人数39人。1人が健康運動ボランティアに加入。	健康運動ボランティアの地域活動の実施回数（回）	45	45	45	45	B	昨年度に引き続き年6回開催した健康運動ボランティア養成講座について、昨年度は新たな健康運動ボランティア加入者が4名いたが、今年度は1名のみ増えた結果となった。 今後も加入者の増加についての検討が必要。また健康運動ボランティアの活動について、就労しながら活動している方やボランティアに時間かけられる人数が減ってきている。実際に活動できるボランティアの育成も課題。	健康づくり課
	地域での健康づくり推進のため、健康運動ボランティアの育成や活動支援をします。				0	44	40				
49	図書館ボランティアの育成・活動促進	【総合図書館】読み聞かせボランティア、書架整理ボランティア活動、ボランティア全体会	おはなし会ボランティア 令和5年度登録者数:9人 全体会:8/24、9人参加、2/23、11人参加 活動回数:32回、延べ67人参加 おはなし会よみかせ講座(育成研修会):2/2開催、22人参加 配架書架整理ボランティア 令和5年度登録者数:12人 全体会:4/21、6人参加 活動回数:95回、延べ223人参加	ボランティアの登録者数（人）	35	35	40	40	C	令和4年度からボランティア活動を再開しているが、登録者の活動辞退もあり、コロナ以前より登録者数は減少しているが、おはなし会ボランティアは育成研修会を実施し、新規ボランティア登録をすることができた。今後も町民と協働を考える上で、ボランティア活動の充実、活動の周知、育成に努める。	教育政策課
	町民と協働する開かれた図書館を目指し、図書ボランティアの育成や活動支援をします。				26	20	21				
50	文書館ボランティアの育成・活動促進	新型コロナウイルスの感染状況を注視し、ボランティア活動の再開を検討（感染対策を施した作業内容の検討など）する。	従来より行ってきた写真整理作業が完結したため、今年度の実施は見送った。	ボランティアの登録者数（人）	6	6	6	6	D	新たな事業内容について検討していく必要がある。	総務課
	文書館での新聞、写真などの資料整理や展示準備などのボランティアの育成と活動支援をします。				0	0	0				

【基本目標2】「活かす」 学んだことを活かせる生涯学習

【施策の方向2】学習成果を地域で活かす機会の充実

【施策2】人材育成・活用の促進

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
51	生涯学習人材登録制度の拡充	生涯学習人材登録制度「ステップ・アップ」の登録メニュー紹介の作成や制度のPRを目的とした登録講師の自主企画講座の支援を行う。	「ステップ・アップ」の登録者に対して内容や更新等の調査を行い、登録メニューを紹介したチラシを作成。町ホームページにおいて公開し、各施設に配架をした。 また、コロナにより休止していた登録講師による自主企画講座を4年ぶりに再開させ、文化祭開催期間中に特別企画として行った。	人材登録制度登録者数(人)	35	37	39	40	B	登録者は昨年度よりも4名増加し、登録メニューとして7分野42講座を掲載した。 コロナにより休止していた登録講師による自主企画講座「ステップ・アップPR講座」を4年ぶりに再開させ、文化祭開催期間中に合わせた特別企画として6講座実施することができた。 自主企画講座は登録者にとって今後の活動へ活かすきっかけづくりとなることから、令和6年度は年間を通して実施にむけた支援を行っていく。	学び推進課
	地域で知識、技能、指導補助等の意欲のある方を登録し、講師紹介や自主企画講座実施等の支援をします。				31	28	32				
52	生涯学習支援者研修の開催	生涯学習人材登録制度登録者や生涯学習活動に意欲のある方に対し、様々な方法を検討して研修の機会を提供する。	未実施	研修の開催回数(回)	1	1	1	1	D	令和3年度以降、人材登録者に対して研修の機会を提供できていない。 令和6年度は、講座を開催する際に必須となる効果的なチラシの作成方法やデザインについて学習する研修を開催し、登録者のスキルアップや活動の支援を行っていく。	学び推進課
	生涯学習人材登録制度登録者等の地域で生涯学習を推進する人を対象に研修機会を提供します。				0	0	0				

【基本目標3】「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向1】まちづくりにつながる学習機会の充実

【施策1】地域やまちを知る学習機会の提供

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
53	文書館保存資料活用事業	▼企画展示「関東大震災100年(仮)」(未定) ▼企画展示「寒川の給食(仮)」(未定) ▼ミニ展示「辰年のできごと」(令和6年1月～3月) ▼古文書講座(令和5年8月～12月、全5回) ▼見学会の実施(未定)	▼企画展示「関東大震災-寒川の被害と復興-」(令和5年10月17日～同年12月28日)を開催した。 ▼企画展示「寒川・学校給食の始まり」(令和6年1月27日～同年3月31日)を開催した。 ▼ミニ展示「卯年のできごと」(令和6年1月13日～3月31日)を開催した。 ▼古文書講座(令和5年10月～令和6年2月まで計5回)を開催した。 ▼見学会を2回実施した(令和5年12月17日開催の「図書館祭り」参加企画「バックヤードツアー」午前午後の2回実施)。	講座・展示等の開催回数(回)	12	12	12	12	B	令和5年度、総合図書館主催の図書館祭りに初めて参加した。当日は、普段の利用者層とは違う層の来館者が多く文書館に訪れ(約200人)、文書館の認知度向上につながった。次年度以降も継続して参加していきたい。	総務課
	寒川地域に関する記録資料を調査、収集、整理、保存し、利用に供するとともに、資料を用いた普及活動等を行います。				6	13	10				
54	文化財学習センター事業	5月：考古学講座 6月：布ぞうり作り教室 10月：歴史クイズ大会 11月：遺跡発表会 3月：まが玉作り教室、遺跡見学会 2-3月頃：出張展示 通年：観光協会出張展示	5/20,5/27,6/10 考古学講座 全3回 41人 6/25 布ぞうり作り教室 9人 11/4 遺跡発掘調査発表講演会 20人 12/10 旧広田医院見学会 22人 2月中 町民センター出張展示 通年 観光協会出張展示	講座・展示等の開催回数(回)	8	8	8	8	A	文化財学習センター単独で開催した事業のみ報告事業とした。計画された事業を変更したりしたものの数値は同じ回数実施することができた。 しかし、この他にも各公民館との共催・協力事業を実施し、地域の歴史や文化に関する学習機会を提供することができた。	教育政策課
	文化財の整理保存、修復を行い、展示等の公開事業や企画展、各種普及啓発事業を実施します。				8	8	8				

55	さむかわ出前講座の実施	出前講座の学習メニューを作成し、町民で構成される団体やグループの依頼に応じて、町職員を講師として派遣する。	「さむかわ出前講座」の学習メニューを発行し、6分野24講座を掲載した。 団体から派遣依頼を受け、各課等の協力により合計28回実施した。 (参加者数: のべ1,493人)	派遣回数 (回)	10	10	10	10	A	多くの団体に対して希望した講座への講師派遣を行い、実施回数は昨年度の2倍となった。町内の各団体において出前講座の認知度が上がってきたといえる。依頼団体の受講後の感想も好評であった。引き続き、各課の協力を得て、町民に対して学習機会の提供を行うことができるよう講座を実施していきたい。	学び推進課
	町民と行政が共に学びながらまちづくりを推進するために、団体等の依頼に応じ、学習を目的とした集会等に町職員を講師として派遣します。				6	14	28				

【基本目標3】「つながる」 学びでつながる生涯学習

【施策の方向2】まちづくりにつながる活動の支援

【施策1】活動団体への支援

NO	事業名	5年度実行計画	5年度事業報告								担当課
	事業内容		5年度実施状況	目標指標 (単位)	上段：目標数値 下段：実績値				R5 評価	事業の成果・課題等	
					R3	R4	R5	R6			
56	地域子育て環境づくり支援事業	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力（補助）を行います。	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う2団体に対し補助を行った。	実施団体数 (団体)	2	2	2	2	A	「不登校サポートネットワーク事業」、「小谷こどもカフェ」の2事業について支援決定をした。 町内に子育て支援をする団体が少ないことから、地域社会全体で子育てを支援していくための意識啓発が必要なため、更なる制度周知を行っていくことにより、支援数の増加を目指していく。	子育て支援課
	地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを推進するために、子育て支援に関する事業を行う団体に対し、事業協力（補助）を行います。				2	3	2				

57	文化団体の育成・活動促進	町文化連盟への補助金支出や文化団体の広報活動への協力等を行い、団体の活動を支援する。	町文化連盟へ補助金を支出し、文化連盟や加盟団体の活動を支援した。 また、活動場所や広報活動の支援を行った。	文化連盟の 会員数(人)	1,100	1,100	1,100	1,100	C	文化連盟に加盟する団体の活動を支援することにより、町内の文化活動の推進、地域文化の振興を図った。 コロナ禍後、2年続けて文化祭を開催することができ、団体や会員のモチベーション維持につながった。しかしながら、会員の高齢化等により、文化連盟の会員数の減少が続いている。引き続き、幅広い年齢層の参加や地域文化を継承していくことができるよう、SNSなどを活用し活動の支援を行っていく。	学び推進課
	地域文化の振興及び継承ができるよう、文化団体の育成や活動支援をします。				891	798	748				
58	国際交流団体の育成・活動促進	さむかわ国際交流協会への補助金支出や協会が実施する国際交流・国際理解に関する活動を支援する。	年間を通して、日本語教室の春コース・秋コースを開催し、希望者に対して託児も行った。	国際交流団体の 会員数(人)	45	45	45	45	C	さむかわ国際交流協会の事業としては、コロナ禍後も交流自体を行うことが難しく、日本語教室以外の活動を行うことができなかった。町内で生活を送る外国籍の人は増え続けており、今後はより一層様々な国の人々との共生が求められる。多文化共生や地域における日本語教育の推進など、地域の実情に応じた取り組みを支援していきたい。	学び推進課
	国際化の推進を図るため、国際交流を行う団体の育成や活動支援をします。				27	25	29				
59	スポーツ団体の育成・活動促進	9月実施予定のレクリエーションフェスティバルは、町民誰でも参加できるように開催。 バドミントン、グラウンドゴルフ、民謡など幅広く気軽に参加できるイベントを実施予定。	○地域スポーツ推進の軸となる2団体(寒川町スポーツ協会と寒川町レクリエーション協会)へ事業補助を実施し、円滑に事業運営ができるよう努めた。 ・スポーツ協会:990,000円 ・レクリエーション協会:125,000円 ○会員数が減少している団体について、担当者と打合せを行い、町のHP等の広報媒体を活用し、情報周知に努めた。 ○観桜駅伝競走大会、レクリエーションフェスティバル、さむかわスポーツデイ等のイベントを通じて、町民に対し、スポーツに親しむ機会の提供及び町スポーツ団体の周知を図った。	スポーツ団体の 会員数(人)	5,500	5,500	5,500	5,500	A	各団体高齢化が進み、運営する担い手が限られてきており、団体の継続が困難な状況になりつつあるケースが見受けられる。 コロナウイルスの影響も小さくなり、町が、各スポーツ団体と協力して行うスポーツ推進等イベントも復活することができた。そのようなイベントを通じて、町民の方々に対し、町のスポーツ団体への参加周知・啓発を行っていく。	スポーツ課
	スポーツ活動の推進を図るため、団体の育成や活動支援をします。				5,268	5,380	5,358				

60	環境団体の育成・活動促進	環境問題の認識を深めるため、環境団体の育成や活動支援をします。	＜目久尻川クリーン作戦＞ 実施日：全8回 4/15（土）、6/17（土）、9/16（土）、10/14（土）、11/18（土）、12/16（土）、1/13（土）、2/17（土） 人 数：各回25～30人程度 ＜川の生き物調査隊＞ 実施日：7/29（土） 予定 定 員：25人 ＜野鳥観察会＞ 実施日：1/20（土） 予定 定 員：25人 ＜自然観察の森での環境学習会＞※新規 実施日：3/3（土） 予定 定 員：25人 ※荒天等の状況により中止となる場合があります。	第3次寒川町環境基本計画で掲げる望ましい環境像を実施するため、環境に関する活動を実施している「さむかわエコネット」に対して交付金を交付した。 また、諸活動に対しても人的及び物的支援を行い、協働による連携により環境活動の活発化を図った。 1.目久尻川クリーン作戦 4月中止 6月33人 9月29人 10月24人 11月21人 12月32人 1月23人 2月27人 全 7回実施 189人 2.川の生き物調査隊 7月22日実施 参加人数 26人 3.野鳥観察会 1月27日実施 参加人数 23人 4.自然観察の森での環境学習会 3月2日実施 参加人数 19人	さむかわエコネット主催事業及び町との共催事業の参加者数（人）	250	260	270	280	A	天候にも恵まれ、目久尻川クリーン作戦は一度中止となったものの、ほとんどの事業を開催することができた。川の生き物調査隊は4年ぶりの開催となり、多くの町民に参加していただいた。一方、野鳥観察会、自然観察の森での環境学習会は若い世代の参加が少なく、目標人数を下回ってしまったため、幅広い世代の方に参加して頂けるよう周知に努めていきたい。	環境課
						169	271	257				
61	自主防災組織の育成・活動促進	各地域の自主防災組織が実施する防災訓練を支援します。	各自主防災組織において訓練を実施した。 自主防災組織訓練を実施した自治会（17自治会、延べ22回） 参加者計：1,543人	訓練・研修会への参加者数（人）	2,750	2,750	2,750	2,750	C	訓練参加団体は増加したが、参加人数は前年度を下回った。 未実施の自治会もあるため、引き続き実施を促していく。	町民安全課	
	防災対策の普及啓発を図るため、自治会に組織されている自主防災組織の活動を支援します。				863	1,685	1,543					

62	緑化推進団体の育成・活動促進	令和4年度に実施した産業まつりでのアンケートの結果や町広報令和5年3月号の特集記事の反響を確認しながら、引き続きHP、SNS等の情報発信ツールによるPRを実施し、積極的な周知活動が続けることで公園愛護会の団体数や活動公園等数の増加につなげる。	令和5年度においては、既存の愛護団体への活動支援を中心に行った。 また、愛護団体の新規登録については、町広報の特集記事の反響が想定よりもなく、増加には至らなかった。 活動用資器材の提供:随時	協働による公園愛護活動を行う団体の登録数(団体)	9	12	15	18	B	愛護会の活動により、公園がきれいに保たれた。 引き続き各愛護会において発展的な公園の利活用が行われた(季節の行事に関する手作りオブジェの展示や公園内の植物の案内掲示等) 新規団体の設立を促進するためには、町広報等の全体的な配信では限界があることから、地域に根差した活動を行っている団体等へのアプローチを行っていく。	都市計画課
	町民に親しまれる身近な緑の空間である公園や緑地・緑道の運用やあり方について、町民との協働で維持管理を行う体制を整えることで、町民主体で整備や維持管理を実施していくことができる体制づくりを行います。				9	11	11				
63	ボランティア活動促進事業	町内で活動するボランティア団体等の登録を進め、町ホームページや広報、SNS、デジタルサイネージ等で活動内容を紹介する。 また、町民とボランティア活動団体をつなげる役割を果たすと共に、団体同士の連携の推進に努める。 他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において地域活動等に関する情報交換を行う。	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、町ホームページや広報紙、ツイッター、フェイスブックで活動内容等を紹介した。併せて、本庁舎1階デジタルサイネージにて周知動画を作成し放映した。 また、問い合わせに応じて登録団体等の紹介を行い、町民とボランティア活動団体を繋げる役割を果たすと共に、団体への情報提供にも努めた。 他に、2市1町(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)で構成される湘南市民活動広域連携協議会において、情報交換会を2回実施した。	「寒川町町民ボランティア団体等登録制度」ホームページ訪問数(件)	300	300	300	300	A	成果: 広報紙、ツイッター、フェイスブックにて活動を紹介する際に、町ホームページへのリンクを添付することで、目標数値を大きく上回ることが出来、団体等の活動の情報発信に寄与出来たと考える。 課題: 昨年までは社会的に活動できない状況が続き、団体の活動が正常に戻りつつあります。	町民協働課
	町内で活動するボランティア団体等の登録を行い、活動促進及び情報の共有化、町民のまちづくりへの参加を促進します。				280	1,419	1,769				

64	公民館サークルの育成・活動促進	【町民センター、北部公民館、南部公民館共通】 サークル入会体験フェスタ、サークル作品展示・ワークショップ（5月・11月）	●サークル入会体験フェスタ【3館共通】 実施①:5月1～31日、参加者数:29人 サークル新規加入者数:11人 実施②:11月1日～30日、参加者数:30人、サークル新規加入者数:11人 ●公民館まつり 【町民センター】3/9、10／来館者1300人 【北部公民館】3/16、17／来館者2366人 【南部公民館】3/23、24／来館者1258人	公民館利用者の会登録団体数(団体)	180	185	190	195	A	公民館利用者の会登録団体数については、目標には達していないが、前年度より増となった。会員が高齢者で人数が少ない団体の解散による減と、公民館講座を契機とした新サークル結成による増が同じようなペースとなっている。今後は既存サークルへの加入支援と、新規サークル結成の支援を両輪で推進していく。	教育政策課
	公民館利用者層の拡大につながるよう公民館サークルの育成や活動支援をします。				177	171	175				
65	協働事業提案制度推進事業	令和4年度実施事業について、事業実績報告会を4月末に開催する。 令和5年度実施事業について、事業を実施（4月～3月）し、年度途中に中間報告会を開催（11月）する。随時、進捗状況の確認も行う。 令和6年度実施事業について、事前相談募集（8月）、事前調整（9月）、正式提案（10月）、協働事業選考委員会による審査（11月）を経て、提案事業を採択。結果に基づき、予算要求を行う。	令和4年度に採択された事業について、令和5年度に1事業を実施した。年度途中の10月に中間報告会を開催し、事業の進捗状況の確認と団体へ助言等を行った。 また、並行して令和6年度実施事業について令和5年度中に1事業を採択し、その結果に基づき予算要求を行った。	協働事業提案制度相談回数(回)	1	1	1	1	A	成果：令和5年度は、目標数値である1団体が事業を実施。令和6年度実施事業として1団体が採択され協働事業を実施します。数としては多くありませんが、事業内容は町では今までに例が無い内容になります。5年度事業は、若者が加わるボランティア団体が幼児を対象に、音楽の演奏やリトミック、朗読を行う事業を実施しました。また、6年度事業は、障がい者、高齢者みんなができるフェンシングの体験会をボランティア団体が実施します。 課題：提案団体の相談や提案件数が年々減少しており、新規の団体の発掘に苦慮している。	町民協働課
	地域の身近な公共的課題などの解決に向けて提案された町民と町との協働事業に対して事業協力（補助）を行います。				4	3	1				

「第2次寒川 学びプラン」 令和5年度実績報告
【事業担当課共通の実績報告】

【基本目標1】「学ぶ」 いつでも、どこでも、だれでも学べる生涯学習

【施策の方向4】 学習環境の充実

【施策2】参加しやすくするための環境づくり

担当課	講座・教室等の開催有無	開催数合計	事業No.38		事業No.39				事業No.40		事業No.41	事業No.42	事業の成果・課題等
			託児		手話通訳		要約筆記		夜間	休日	アンケート	インターネット	
			実績	実施	実績	実施	実績	実施					
1 広報戦略課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2 総務課	有	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	令和5年度、総合図書館主催の図書館祭りに初めて参加した。当日は、普段の利用者層とは違う層の来館者が多く文書館に訪れ(約200人)、文書館の認知度向上につながった。次年度以降も継続して参加していきたい。
3 町民協働課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
4 町民安全課	有	38	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	夜間、休日の対応は職員負担が大きかったと感じた。
5 町民窓口課	有	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	神奈川県との男女共同参画推進市町村連携事業「仕事や家庭で役立つコミュニケーション講座～自分も相手も大切にするアサーションを学ぼう～」は、昨年度同様にYouTube配信とし、インターネットによる申し込みを実施した。 目標値の2倍以上の参加者となった。 増加理由は、申込者が都合の良い時間、場所で視聴することができるためだと思われる。 今後もインターネットによる講演会の開催を検討する。
6 子育て支援課	有	99	6	6	0	0	0	0	0	5	62	2	令和5年5月にコロナは5類に移行したが、感染状況を考慮し、開催した。人数制限等感染対策について、今後検討していく。
7 学び推進課	有	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	文教大学出張講座を開催するにあたり、参加しやすい環境づくりとして、日曜日の開催と手話通訳を配置した。また、参加者アンケートを実施したところ、結果は概ね好評であった。時代に即したテーマや内容の選定と参加者を増やせるような講座の企画の兼ね合いが課題である。

8 スポーツ課	有	8	0	0	0	0	0	0	0	8	3	1	講習会や教室を、参加しやすい休日を実施することで、多くの町民にご参加いただいた。申込みについて、電話等の申込が多く対応に時間を要するため、今後は電子申請システム等を活用し、業務の効率化に努めていく。 また、町民のニーズ・スポーツ推進計画に沿った教室を実施でき、多くの方に参加いただいた。(頑張らないウォーキング教室)
9 福祉課 (社会福祉協議会)	有	74	0	0	11	11	0	0	0	21	37	8	●町内の小中学校における福祉を育む学びの場づくりでは、学校と学びのサポーターと社協で丁寧な準備を行うことにより、子どもへの効果的な学びの場を提供できた。 ●地域における福祉体験の場づくり(地域講座)や各種出前講座では、体験を希望する団体の要望に沿って開催することで、より多くの世代と団体に福祉の学びの場を提供できた。 ●地域福祉フォーラムと成年後見講座ではGoogleフォーム活用した申込み受付を実施。また、社協ボランティアセンターではコロナ禍以降、積極的にSNS(メール、LINE、Googleフォーム、動画配信等)を活用しており、定着している。 ●介護に関する入門的研修は基礎講座、入門講座ともに土日開催をすることで、勤労者を含め幅広い世代の受講につながった。●認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座・キッズサポーター養成講座では、平日、土日祝、学校等、幅広い開催日時と場所を確保することで、認知症の理解者とサポーターを定期的に増加、促進させた。 ●ボランティア体験会、ボランティアまなびあい講座は、毎年開催の実績と反省等から開催方法に工夫と変化を加えており、今年も新たな参加者層の獲得につながった。 ●ふれあい福祉フェスティバルでは、会場中央に常時手話通訳者を配置し、同時通訳で、情報提供ができた。 ●令和5年度は託児ありの講座等は開催していないが、今後、内容と対象者の設定により積極的に検討していきたい。また、手話通訳だけでなく、必要に応じ要約筆記を検討していきたい。申込み方法にはSNSの活用とともに、電話やFAX、窓口にも継続が必要。
10 高齢介護課	有	179	0	0	0	0	0	0	0	6	15	4	(介護予防) 前年度で定員割れが起きたため、高齢者には特定の曜日が町主催介護予防教室の日と深く認識されていることを鑑み、曜日を以前のように固定して行った。どの回も定員割れは起きずに行うことができた。 (認知症)寒川町立の中学3年生に認知症サポーター養成講座を実施できた。アンケートではほとんどの方が「認知症の人や介護する人の気持ちが理解できた」との回答があった。
11 健康づくり課	有	55	0	0	1	1	0	0	0	10	16	0	昨年度まで人数等を制限していた講座となっていた講座や教室について、今年度は制限なく実施することができ、多くの方に参加いただけた。 今後も町民の健康的な生活につながるような講座や教室について、引き続き実施できるように事業内容等検討しながら進めていく。

12 産業振興課	有	5	0	0	0	0	0	0	2	0	4	2	労政問題懇話会との共催による労働講座を開催し、勤労者等の積立投資に対する魅力に寄与した。 湘南合同就職面接会では、寒川町・藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・ハローワーク藤沢の主催で、神奈川県等と共催し感染症対策を行ったうえで実施し、若者の就労機会に繋がる事業を行った。 また、企業と高校の情報交換会について、藤沢市・茅ヶ崎市・鎌倉市・大和市・綾瀬市・ハローワーク藤沢・ハローワーク大和及び各商工会議所(商工会)と共催で開催し、高校と企業の情報交換の場を創出した。 ミニ面接会については、参加者の工場見学等に繋がった。 その他、商工会との共催で町内での新規創業者・創業予定者を対象とした創業支援セミナーを開催する事ができた。
13 環境課	有	13	0	0	0	0	1	1	0	9	8	4	環境団体、広域で協力し学習講座等を実施。LINEでの周知や、各学校に向けチラシなどを配布し参加者を募り、参加者向上につなげられた。
14 都市計画課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15 教育政策課	有	8	0	0	0	0	0	0	0	8	4	5	
16 学校教育課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17 町民センター・公民館	有	309	0	0	0	0	0	0	2	102	139	多数	公民館ホームページに設定した講座申込フォームからの利用が多く、とくに青少年向け講座は参加申込者が増えている。
18 寒川総合図書館	有	138	0	0	0	0	0	0	1	73	26	0	
19 教育施設給食課	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計		944	6	6	13	13	1	1	6	254	320	32	

「第2次寒川 学びプラン」令和5年度事業報告の評価(案)

<寒川町生涯学習推進会議評価>

その他

○評価として必要とする事業というのは必ずあり、それは開催することに意義があるので、事業目的は集客ではない。この判断基準を次年度あるいは第3次のときには、検討されることを望む。

No.38「講座開催時の託児の実施」

○子育て世代と一緒に参加しやすくなるようなイベントをたくさん開催している中で、その点が全く反映されていない。託児が実際にあった件数だけ見てしまうと、あまりにもイベントを行っていないと捉えられてしまう。実際は、親子イベント、子育て世代が学習活動に参加しやすくなる講座・教室を行っているので、この事業内容や目標数値の設定に関して、託児以外の部分でどれだけの事業・イベントがあったのか、開催があったのかというのも、ぜひ掲載していただきたい。